

令和6年
2024年

12月16日
月曜日

第11617号

食肉速報

— THE DAILY MEAT NEWS —

昭和51年5月19日
第三種郵便物認可

購読料(前納)
年間 82,080円
(税込み)
6カ月 42,120円
(税込み)

本紙は関連企業・団体との
タイアップ企画記事を含みます

【発行所】株式会社食肉通信社
<https://www.shokuniku.co.jp/>

東京支社
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
TEL03-3663-2011 FAX03-3663-2015

大阪本社
〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
TEL06-6538-5505 FAX06-6538-5510

九州支局
〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12
TEL092-271-7816 FAX092-291-2995



第1回畜産・酪農対策委が開催された……P4

注目のヘッドライン

大手豚肉サプライヤーインタビュー
下仁田ミート永井一郎社長、神戸雅広専務
…詳細はP2~3

第1回畜産・酪農対策委を開催
団体要請や北海道など現地視察を報告

自民党の畜産・対策委員会(第1回)が党内で開催され、現地視察(酪農)の報告や、畜産関係団体による要請などが行われた。

…詳細はP4

- ▶ 大手豚肉サプライヤーインタビュー、下仁田ミート永井一郎社長、神戸雅広専務 …… P2~3
- ▶ オーエムアイ「モッタイナイビーフ」のガチャが楽しめる冷凍自販機誕生 …… P3
- ▶ すかいらーくHDが、マレーシアですき焼き・しゃぶしゃぶ店運営のCCグループ買収 …… P3
- ▶ 第1回畜産・酪農対策委を開催、団体要請や北海道など現地視察を報告—自民党 …… P4
- ▶ オーギー・ビーフがワールド・ステーキ・チャレンジで圧倒的高評価 …… P5
- ▶ 細胞性フォアグラを開発する仏企業がミシュラン・マスターズ結成 …… P5
- ▶ NBP JAPANが事務所を移転、12月16日から新事務所業務開始 …… P5
- ▶ 欧州委員会の指摘を受け、ブラジルがEU向け雌牛牛肉の輸出を停止 …… P6
- ▶ 【東京食肉卸売市場】牛は強もちあい、豚は下げるか …… P7
- ▶ 【大阪市食肉卸売市場】牛年内は強気推移、豚弱もちあいの展開か …… P7
- ▶ 鍋料理人気1位にすき焼き、2位にしゃぶしゃぶ—「みんなのランキング」 …… P7
- ▶ 食肉市場の年末・年始業務(と畜業務) …… P8
- ▶ 食肉市場の年末・年始業務(市場業務) …… P9
- ▶ [東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数]13日 …… P10
- ▶ [各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場]13日 …… P11



国内で唯一、最大級の食肉総合見本市

第49回 **2025食肉産業展**
2025 Japan Meat Industry Fair 49th.

肉のサステナビリティとイノベーション

会期◎ **2025年3月11日(火)⇒14日(金)**

会場◎ 東京ビッグサイト 東7ホール 主催◎ 食肉産業展実行委員会
後援◎ 農林水産省、厚生労働省ほか

食肉産業展HP ▶ <https://www.shokuniku-sangyoten.jp>

大手豚肉サプライヤーインタビュー 下仁田ミート永井一郎社長、神戸雅広専務

コスト高や人手不足など、厳しい経営環境は全国共通の課題だ。群馬で高品質と地産地消にこだわった生産を続ける下仁田ミートの永井一郎社長(写真右)、神戸雅広専務(同左)に対応策や中長期的な取り組みについてきいた。

―出荷頭数や売り上げなど、前年度の実績はいかがでしたか。

生産部門の「養豚事業部」では、夏の猛暑や疾病の影響により3万頭の出荷頭数で前年比99%と若干減少しました。しかし、枝肉の販売単価がキロ当たり557円で前年比101%と前年を上回ったことで、肉豚売上金額は12億5千万円で前年並みとなりました。

主な販売先は自社の加工・販売部門「ミート事業部」へ1万7千頭で7億3千万円。マルイチ産商に7100頭、3億円。群馬県食肉卸売市場へ5800頭、2億円となりました。

ミート事業部の売上高は微増ながら、過去最高の14億円となりました。豚肉価格の上昇で卸売り上げが7億6千万円と微増し、店舗売り上げは6億4千万円と微減しました。

―本年度の計画はいかがでしょう。

肉豚出荷頭数で3万2千頭、前年比108%と増加する計画です。しかし、枝肉販売単価は前年比98%のキロ当たり550円と低く見込んでいます。従って肉豚売上金額としては13億2千万円で、前期比105%となります。ミート事業部の売上計画は14億3千万円で、内部移動を除いた会社全体の売り上げは20億円の計画です。

―飼料や資材、エネルギーなどコスト高が続いていますが、対応策はいかがでしょう。

飼料価格は高止まり傾向にあり約7億円、前年比で103%、2千万円の増加となりました。飼料仕入先を1社増やして飼料試験を行い、肉質に問題がないかを確認し、肉豚用は全量飼料米20%に変更しました。昨年値上がり激しかった電気料金は電気事業者を変更することで前年比70%、2700万円の引き下げとなりました。

―生産体制、今後の取り組みはいかがでしょう。

昨年、スクラップ&ビルドで吾妻牧場第1農場ぶんに



べん 宛舎を建設し、今年はストール豚舎を建設中です。これにより母豚数が安中牧場800頭、吾妻牧場700頭の計1500頭体制となります。吾妻牧場は新豚舎建設により夏場でも順調に出荷ができると予定しています。

―加工品などの商品開発はいかがでしょう。

既存の商品としては自社製造の豚ロースみそ漬け、肉シューマイがあります。委託製造では自社のブランド豚を使ったハム・ソーセージ、ギョーザ、カレー、モツ煮を販売しています。今年はキーマカレーを試作中です。また、ホームページの刷新と併せてECサイトを構築中です。

―貴社のブランド豚肉とその特長などについておきかせください。

当社では「下仁田ポーク」「下仁田ポーク米豚」の二つのブランド豚を生産していましたが、昨年度後半から全量飼料米20%添加した「下仁田ポーク米豚」に一本化しました。「下仁田ポーク米豚」は休耕田・耕作放棄地の有効利用と国産飼料による食料自給率の向上に貢献し、耕畜連携の推進を目指して立ち上げたブランド豚で、さっぱりした味わいが特長で、女性や子供からの評価の高いブランドとなっています。しゃぶしゃぶなどのメニューには良く合います。専属管理獣医師の下、環境衛生に配慮し、徹底した衛生管理で健康に育ち、安全・安心も確保されています。

―今後の中長期的な取り組みはいかがでしょう。

養豚事業部としては、疾病などのリスク分散を考えて吾妻牧場の母豚1千頭への規模拡大、繁殖農場と肥育農場の2サイト体制があります。また、長野県や発祥の地・下仁田町に第3牧場を建設したいと考え、土

地を探しています。

ミート事業部としては、将来的に手狭になっている
安中店をスクラップ&ビルドの形で新店舗建設も視
野に入れていきます。

全社的なことでは、次世代の経営者の育成が挙げ

られます。昨年度、事業継承がスムーズにいくよう「従
業員・役員持株会」を組成しました。今年度は「人事評
価システム」を構築中です。今後も「生産・加工・販売
の一貫システム」のメリットを生かし、地産地消と高品
質で安全にこだわった商品作りを進めていきます。

オーエムアイ「モットイナイビーフ」のガチャが楽しめる冷凍自販機誕生

東京食肉市場で牛肉専門
仲卸業を営む(株)オーエムアイ
(東京都港区、尾身雅弘社
長)が提供する、フードロスから
生まれた100%国産牛・和
牛のD2C(消費者直接取引)
ブランド「モットイナイビーフ」
の肉ガチャが楽しめる冷凍自
販機が12日から、自動販売
機セレクトショップ「PiPPon!
(ピッポン)」(東京都品川区
中延)に設置された。同自動
販売機は、これまでオンライン
でのみしか購入できなかった

モットイナイビーフを初めてリアル店舗で購入できる
場所となっている。「モットイナイビーフガチャ」は1回3
千円で、ハズレなしで100%和牛・国産牛の商品が当
たるお得なコンテンツだ。

同社はこれまで35年間にわたり、有名ホテルや宮
内庁などにえりすぐりの和牛・国産牛を供給。牛を一
頭丸ごと仕入れて加工しているが、卸用の商品を製



造するにあたり、規格外となっ
てフードロスとなってしまう
“もったいない”牛肉が多く発
生。そんな牛肉を「モットイナ
イビーフ」と名付け、サステナ
ブルな食材としてより多くの
人に楽しんでもらえるよう、一
般客向けに数量限定で販売
している。使用する牛肉は、同
社で普段取り扱っているA4・
A5ランクの和牛・国産牛で、
中には「松阪牛」「宮崎牛」な
どの有名ブランド牛が含まれ
ていることも。高品質の牛肉

を手軽に楽しむことができる商品となっている。

商品ラインアップは全8種類。モットイナイビーフの
定番商品でお取り寄せ大賞2024の肉グルメ部門で
金賞を受賞した「国産牛 焼肉用」や、霜降りのロース
が楽しめる「黒毛和牛厚切りステーキ」、少し珍しい加
工品の「黒毛和牛ベーコン」などさまざまな商品が楽
しめるチャンスがある。

すかいらーくHDが、マレーシアで すき焼き・しゃぶしゃぶ店運営のCCグループ買収

すかいらーくホールディングスは12日、マレーシア
のCreateries Consultancy Sdn. Bhd.等(CC グ
ループ)の全株式を取得し、子会社化すると発表した。
①マレーシアおよび東南アジア諸国での迅速な出
店展開②Skylark Malaysia Sdn.Bhd.が運営する
しゃぶ葉(現在5店舗)とのシナジーを目指す。

CCグループは、マレーシアのクアラルンプールで、
豚肉・アルコールを提供しない、ムスリム向けのすき焼

き・しゃぶしゃぶ店(現在13 店舗)を運営している。

すかいらーくHDは、同じしゃぶしゃぶ業態の「しゃ
ぶ葉」をマレーシアに展開しているが、こちらは豚肉・
アルコールも提供しており、中華系のお客を中心に利
用されている。マレー系向け、中華系向けの2ブランド
戦略で、マレーシアでの迅速な出店展開をしていくと
ともに、東南アジア諸国への出店も進めていく考え。

株式譲渡実行日は来年1月を予定している。

第1回畜産・酪農対策委を開催 団体要請や北海道など現地視察を報告—自民党

自民党の畜産・対策委員会(第1回)が党内で開催され、現地視察(酪農)の報告や、畜産関係団体による要請などが行われた。

冒頭、総合農林政策調査会の宮下一郎会長は「生産者が将来にわたり、安心して持続可能な畜産に取り組めるように政策につなげていきたい」と述べた。続いて、畜産・酪農対策委員長に選任された梁和生委員長が「価格については、例年予算編成に合わせて進めている。このたび、北海道の現地視察を7、8日に行ったほか、都府県酪農については11日にWEB会議を開催したので報告する。また、九州については、14、15日に宮崎県と鹿児島県を視察する予定だ。生産現場の皆さまが意欲を持って営農を継続できることがわれわれの使命だ。補正と関連対策、酪肉近など、総合的に営農できる環境を提供できるよう、活発な議論をお願いしたい」と話した。

小寺裕雄事務局局長は現地視察の報告を行った。このうち、北海道の視察先である浅野牧場においては、酪農経営を行う一方、能力の低い高齢の雌牛には和牛受精卵を移植して、副産物収入の確保を図っており、肉牛経営について、「飼料費や輸送費など各種コストが高く厳しい状況にあることを理解してほしい」「乳用種、交雑種牛肉について、テーブルミートとしての価値を認めてほしい」という声が上がった。

松本平畜産局長は「畜産・酪農をめぐる情勢」および「6年度補正予算の概要」について説明。6年度補正予算のうち、肉用牛対策では、出口対策が最も重要であると考えており、和牛肉の販売促進の支援に本年度の3倍を超える予算となる170億円を措置。増体や肉質の優れた若い繁殖雌牛への牛群の転換を支援する優良繁殖雌牛更新加速化事業に46億円を計上している。

次に、全国農業協同組合中央会(全農)、日本酪農政治連盟(酪政連)、全国肉牛事業協同組合(肉事協)、日本養豚協会(JPPA)、日本養鶏協会の5団体



が要請を行った。

全農の谷口俊二畜産委員長は「繁殖経営の営農が進み、わが国が誇る和牛の生産基盤は厳しい状況だ。肉用子牛生産者補給金制度における保証基準価格は、生産コストの上昇など厳しい経営環境等を踏まえ、肉用子牛の再生産が確実に確保できる水準に設定することを願いたい」とし、合わせて優良子牛生産に向けた緊急的な対策、農林漁業セーフティーネット資金の特例継続など、畜産・酪農経営の維持などに向けた柔軟かつ万全な資金対策、家畜衛生対策の強化を要請した。

肉事協の佐々木信弘理事長は「肉牛農家の経営は逼迫している状況である」と呼びかけた上で、家族経営を中心とする肉用牛生産の経営体質の強化を求めるとともに、離島などの条件不利地域などの基幹産業である繁殖経営の維持・発展のため、肉用子牛対策の着実な実施に加え、金融機関などへの支援、さらに、ランピースキン病の対策においても再検討を要請した。

このほか、JPPAの香川雅彦会長は「国内由来飼料原料の低コスト安定供給への十分な支援」「豚熱など衛生・疾病対策の強化」「生産費用高騰に対するセーフティーネット」など、日本養鶏協会は「高病原性鳥インフルエンザの防疫措置の徹底および埋却地の確保やレンダリング・埋却を行うための施設整備に関する地域への支援」等を求めた。

団体要請に対し、出席議員は生産者の減少理由について尋ね、これについて「若者が夢を持って取り組んでいくためには、もうかっていくということが重要であると思う」「全体で利益が出るのなら、と畜場も新しくなっている。畜産全体でもうかっていないということが大きい問題では」とそれぞれ意見を述べた。

次回委員会では、九州での現地視察報告を踏まえた意見交換などが行われる予定だ。

オージー・ビーフがワールド・ステーキ・チャレンジで圧倒的高評価

11月11日にイギリス・ロンドンで開催された世界最高峰のステーキを決定する国際品評会「ワールド・ステーキ・チャレンジ 2024」において、オージー・ビーフが「世界最高のステーキ(World's Best Steak)」部門ほか、「世界最高の Wagyu(World's Best Wagyu)」 「世界最高の穀物肥育サーロイン(World's Best Grain-Fed Sirloin)」の合計3部門でトップの座に輝き、名実ともに世界最高のステーキと評価された。さらに21個の金メダルを獲得し、ビーフ生産国の中で最も多くの高評価を得た。「オージー・ビーフ」はその品質の高さから、家庭で

の日々の食事から特別な日のディナーまで、あらゆるシーンで選ばれている。また、多様性に優れ、独自の風味と食感を提供している。

「ワールド・ステーキ・チャレンジ」は、「世界のベストレストラン 50」や「インターナショナル・ワイン・チャレンジ」などを開催している、ウィリアム・リード社が主催。世界各国のステーキの生産者や輸出業者が、国際的な舞台で食肉の品質、品種の証明、加工基準を紹介する世界初の品評会であり、2015年から開始され、今年で10回目を迎えている。 <https://worldsteakchallenge.com>

細胞性フォアグラを開発する仏企業がミシュラン・マスタートズ結成

細胞性食品のスタートアップ企業として2019年に創立され、世界で初めて欧州委員会ほか米国など世界4カ国で規制当局への認可申請を行った GOURMEY社(フランス)。パリ発プレミアム細胞性食品の世界的リーダーである同社は、米国で活動しているシェフのクロード・ル・トヒック氏、デンマークのラスマス・ムンク氏、日本のダニエル・カルバート氏という世界的に著名な料理界の巨匠3人の協力を得て、細胞性フォアグラの今後の研究開発と対外広報に関して助言を受ける、料理諮問委員会(ミシュラン・マスタートズ)を立ち上げた。

GOURMEY社は、今年7月に世界5地域・国で承認申請を行って以来、生産工程の規模を拡大し続け、高級食肉分野での短期的な収益軌道を確認。欧州委員会および欧州食品安全機関をはじめとして、シンガポール食品庁、米国食品医薬品局、英国食品基準庁、そしてスイス連邦食品安全獣医局に、細胞性フォ

アグラの認可申請手続きを行った。EUの「新規食品」に関わる規制枠組みは非常に複雑かつ厳しく、要求される安全性データ基準も高いことで知られる。EUで「新規食品("Novel Food")」の枠組みを使い、培養肉(細胞性食品)の認可申請が提出されたのはこれが初であり、同社が道を切り開くことができれば、追従する企業の増加も予想される。

日本はかつて世界第2位のフォアグラ消費市場を有していたが、鳥インフルエンザによる輸入制限などでフランスからの供給が途絶えている。そのため、同社はこの細胞性フォアグラを唯一日本で食することができるフランス産のフォアグラとして、2026年頃の商業化を目指すとしている。さらに成長戦略の一環として、日本企業との提携などを通じ、長期的には日本国内での一貫製造も視野に入れている。再生医療や食品加工分野での日本の高い技術力も、このパートナーシップを強固にする重要な要素となる。

NBP JAPAN が事務所を移転、12月16日から新事務所で業務開始

「ナショナルビーフ」「アイオワ・プレミアムビーフ」のチルドビーフを中心とした高品質な米国産牛肉、さらにマルフリグ社(本社=ブラジル)のウルグアイ産牛肉を日本市場に向けて幅広い提案やマーケティングを行っているNBP JAPAN(株)(ナショナルビーフ、案西広

喜社長)。同社はこのほど、事務所を移転。12月16日から新事務所で業務を開始する。新事務所の所在地は次のとおり。なお、電話、FAX番号に変更はない。

102-0093 東京都千代田区平河町1丁目3番13号
CIRCLES 平河町4F

欧州委員会の指摘を受け、ブラジルがEU向け雌牛牛肉の輸出を停止

欧州委員会の保健・食品安全総局(DG SANTE)はこのほど、ブラジルからのEU向け牛肉について、EUでの使用および処置された牛由来の製品の輸入が禁止されているホルモン剤(エストラジオール17β)の不使用を保証する書類に実効性が担保されていないとする監査報告書を公表した。

同局が24年5月～6月にかけて実施した監査の結果を受けて、ブラジル当局は同年10月6日からEU向けの雌牛の牛肉の輸出を停止している。

ブラジルにおいて、2023年12月時点でEU向け牛肉の由来する牛を生産する農場は、同国の個体識別システム(SISBOV)に登録された農場(ERAS農場)1220戸に特定され、これらの農場からEU向けの認定と畜場に出荷が可能となる。

EUへの牛肉の輸出に当たっては、生産農場がホルモン剤の不使用に関する誓約書をブラジル農務省(MAPA)に提出し、同省が衛生証明書を発行することとされている。この誓約書は、肥育素牛などをERAS農場に出荷する非ERAS農場に対しても提出が義務付けられている。なお、ブラジルではエストラジオール17βの使用が認められており、ERAS農場でも、EU向け以外での使用は可能となっている。

今回の監査でDG SANTEが問題点として指摘したのは、①農場での牛の治療記録の保存が義務付けられていない②動物用医薬品の使用に関する管理が行われていない③動物用医薬品に記載すべき情報が定められておらず、農場での処方箋の保管義務がない④ERAS農場に出荷する非ERAS農場は他の非ERAS農場から牛を仕入れることができ、仕入れ元の農場は誓約書に署名する必要がない—という4点である。これらを踏まえると、MAPAは衛生証明書の発行に当たり、エストラジオール17βを使用していないという誓約書の信頼性を確認できないとしている。

監査の結果から、同局はブラジル当局に対して、エストラジオール17βを処置された牛由来の製品がEUに輸出されないよう勧告を出した。

DG SANTEの勧告を受けてブラジル当局は、エストラジオール17βを使用していないことを保証する運用を1年以内に開始するとし、同運用の開始まで、EUへの牛肉の輸出は雄牛のみとすると回答した。

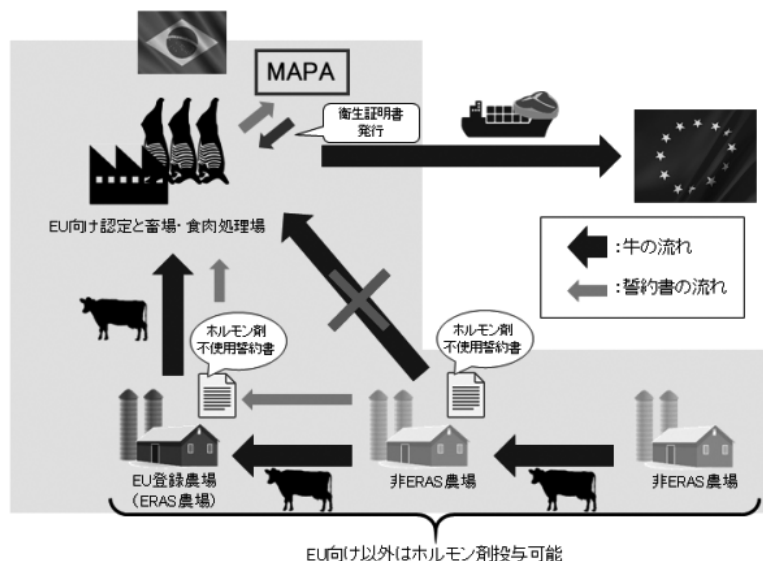
アイルランド農業連盟(IFA)のゴーマン会長は、EUに対して、ブラジルがEUと同じ基準を満たすことを証明できるまで、同国からの牛肉の輸入を直ちに停止するよう求めた。

一方、ブラジルの報道によると、同国からEUへの牛肉の輸出量は全体の3%程度であり、直接的な影響は限定的とする一方、EUの高級牛肉の低関税枠(ヒルトン枠)を使用する事業者にとっては、収益への影響が出る可能性があるとしてされている。

年内にもEUとメルコスールとの貿易協定に関する交渉が完了するとの観測もあり、EUの農業団体などは、メルコスール加盟国がEUの厳格なアニマルウェルフェアや環境保護、消費者の健康に関する基準を順守することを保証するよう求めている。

欧州農業組織委員会・欧州農業協同組合委員会(Copa-Cogeca)は今回の監査での指摘を踏まえて、メルコスールとの貿易協定の発効により、EUの基準を満たさない製品がEU市場に流入することは、EUの生産者と消費者双方にとって不利益となるとして、EU当局に対して協定の締結を考え直すよう求めた。(農畜産業振興機構)

図 ブラジルからEUへの牛肉輸出の流れ



資料: DG SANTEの資料を基に、機構作成。

【東京食肉卸売市場】牛は強もちあい、豚は下げるか

[牛]年末需要から着実に引き合いが強まり、前週、和牛4等級は2500円超え、交雑牛3等級は1700円超えの日が続くなど、和牛、交雑牛共に高値圏で推移した。輸入物の通関遅れが続いていることもあり、国産牛のスソ物も底堅い。

クリスマス商戦に向けた動きが活発になっているが、今年はクリスマスが週中ということもあり、「ステーキ材やローストビーフに使われるソトモモの発注が例年より少ない」(卸)との声もきかれた。

今週も相場高は続く予想されるが、末端は部位によっては相場の上げに追いついておらず「これ以上の大きな上げは難しい」(卸)との見方が強い。

和牛去勢A5は2700～2800円、A4は2500～2600円、A3は2300～2400円、交雑牛去勢B4は1700～1800円、B3が1600～1700円、B2が1550

円前後の強もちあいか。

[豚]前週は年末に向けた手当てが本格化し、枝肉相場はさらに上昇。週半ばには、上物価格は700円に迫る価格を付けた。関東でも一段と冷え込みが厳しくなる中、鍋物需要などはさらに高まっている。

ただ、週後半には軟調な展開に。ここへきて全国と畜頭数は連日7万頭を超えており、東京市場のと畜頭数も1千頭を超える日が散見される。また輸入ポークについては余剰感こそないものの、一時期に比べると需給が落ち着いてきた。冬休みを前に学校給食に向けた手当てが止まる時期でもある。

例年に比べて相場が上昇するタイミングが早かったこともあり、今週も相場がさらに下げる可能性もあるか。

【大阪市食肉卸売市場】牛年内は強気推移、豚弱もちあいの展開か

[牛]大阪市場の年内の最終上場は12月25日を予定している。上場日は残すところ10日を切った。先週末に佐賀牛枝肉共励会が行われ、主な共励会は終了。

12月は前半の共励会続きで、それが相場を押し上げる役割を果たしていたことから、月後半の相場はダレてしまうなど、低調となりやすい。ただ、11月以降の急激な相場変動の中で、12月前半までに牛枝肉を買

い切れなかった事業者も多く、引き続き買い求める動きが予想される。

このため今年は、和牛、交雑牛ともに、月末まで一定の高値を維持するとみる。

[豚]枝肉相場は徐々に下落してきた。まだ乱高下がみられるものの、下げ基調に転じているのは確かだ。今週も日によって価格差が生じるだろうが、主に500円程度の弱もちあいとみる。

鍋料理人気 1位にすき焼き、2位にしゃぶしゃぶー「みんなのランキング」

インフォニア(株)(本社＝東京都港区)が運営するユーザー参加型のランキングサイト「みんなのランキング」はこのほど、290人以上の投票で決定した「鍋料理人気ランキング」の結果を公開した。

それによると、1位は「すき焼き」(83・3点、111人が評価)、2位は「しゃぶしゃぶ」(77・4点、73人が評価)となった。さらに3位の「寄せ鍋」(75・5点、68人が評価)に続き、4位には「モツ鍋」(75・1点、95人が評価)がランクイン。5位に「キムチ鍋」(74・4点、147人が

評価)が続く。

「すき焼き」を選んだ理由には「甘辛いタレがとき卵と一緒にすると絶妙にまろやかになって、いくらでも食べられる」「牛肉をおいしく食べるのであれば、甘辛いすき焼きをとき卵で食べるのが一番」といったコメントが、また「しゃぶしゃぶ」では「ラムしゃぶが大好き。週1回は食べたい」「肉の脂を落とせるので、カロリーが低いイメージ」といったコメントが寄せられた。

[資料]

年末・年始業務(と畜業務)

公益社団法人日本食肉市場卸売協会

| 市場 | 令和6年12月 | | | | | | | | | 令和7年1月 | | | | | | | 備考 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|--------|
| | 23 (月) | 24 (火) | 25 (水) | 26 (木) | 27 (金) | 28 (土) | 29 (日) | 30 (月) | 31 (火) | 1 (水) | 2 (木) | 3 (金) | 4 (土) | 5 (日) | 6 (月) | 7 (火) | |
| 仙台 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | ○ | |
| 茨城 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 栃木 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| 群馬 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| さいたま | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | 1/5牛のみ |
| 川口 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 東京 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | 1/5豚のみ |
| 横浜 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 山梨 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| 浜松 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| 岐阜 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| 飛騨 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | |
| 名古屋 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 東三河 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| 四日市 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| 京都 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |
| 大阪 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 神戸 | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 姫路 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 加古川 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 西宮 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 岡山 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 坂出 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 高松 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 広島 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| 福岡 | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| 佐世保 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 休 | ○ | ○ | |

[資料]

年末・年始業務 (市場業務)

公益社団法人日本食肉市場卸売協会

| 市場 | 令和6年12月 | | | | | | | | | 令和7年1月 | | | | | | | 備考 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------------------|
| | 23 (月) | 24 (火) | 25 (水) | 26 (木) | 27 (金) | 28 (土) | 29 (日) | 30 (月) | 31 (火) | 1 (水) | 2 (木) | 3 (金) | 4 (土) | 5 (日) | 6 (月) | 7 (火) | |
| 仙台 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | ○ | |
| 茨城 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 栃木 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | 休 | ○ | ○ | |
| 群馬 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| さいたま | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | ○ | |
| 川口 | ○ | △ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | |
| 東京 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | 1/6豚のみセリ |
| 横浜 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 山梨 | 休 | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 浜松 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 岐阜 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | 休 | ○ | ○ | |
| 飛騨 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | |
| 名古屋 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | 12/27豚止市 1/8牛初セリ |
| 東三河 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | 休 | ○ | ○ | |
| 四日市 | △ | △ | △ | ○ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | △ | 12/26豚のみセリ |
| 京都 | ○ | ○ | 休 | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | 休 | ○ | ○ | |
| 大阪 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 神戸 | ○ | ○ | ○ | △ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | |
| 姫路 | △ | △ | △ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | |
| 加古川 | △ | ○ | △ | △ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 西宮 | ○ | △ | △ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | |
| 岡山 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | |
| 坂出 | △ | ○ | △ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | |
| 高松 | △ | △ | △ | △ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | △ | |
| 広島 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | △ | ○ | ○ | |
| 福岡 | ○ | ○ | ○ | ○ | △ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |
| 佐世保 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | 休 | ○ | ○ | |

東京・大阪枝肉相場、全国と畜頭数

[東京食肉卸売市場] 12月13日
枝肉卸売価格(瑕疵除く)(頭、1kg当たり円、税込み)

| ◇牛生体 | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
|--------|------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|---|
| 和牛 | 雌 A | 高値 | 3,404 | 2,641 | 2,380 | - | - | |
| | | 安値 | 2,524 | 2,338 | 2,052 | - | - | |
| | | 平均 | 2,823 | 2,532 | 2,285 | - | - | |
| | 93頭 | 頭数 | 54 | 34 | 5 | - | - | |
| | | 雌 B | 高値 | - | 2,439 | - | - | - |
| | | | 安値 | - | 2,378 | - | - | - |
| | 平均 | | - | 2,412 | - | - | - | |
| | 2頭 | 頭数 | - | 2 | - | - | - | |
| | | 去 A | 高値 | 3,484 | 2,623 | 2,420 | - | - |
| | | | 安値 | 2,457 | 2,427 | 2,074 | - | - |
| | 平均 | | 2,772 | 2,541 | 2,331 | 2,052 | - | |
| | 196頭 | 頭数 | 140 | 43 | 12 | 1 | - | |
| 去 B | | 高値 | - | - | - | - | - | |
| | | 安値 | - | - | - | - | - | |
| | 平均 | - | - | - | - | - | | |
| -頭 | 頭数 | - | - | - | - | - | | |
| | 乳牛 | 雌 B -頭 | 平均 | - | - | - | - | |
| | | 雌 C -頭 | 平均 | - | - | - | - | |
| 去 B -頭 | | 平均 | - | - | - | - | | |
| 去 C -頭 | 平均 | - | - | - | - | - | | |
| | 交雑牛 | 雌 B | 平均 | - | 1,820 | 1,692 | 1,538 | |
| | | 23頭 | 頭数 | - | 4 | 13 | 6 | |
| 雌 C | | 平均 | - | 1,631 | 1,647 | 1,494 | | |
| 6頭 | 頭数 | - | 1 | 4 | 1 | | | |
| 去 B | 平均 | - | 1,909 | 1,769 | 1,619 | - | | |
| | 28頭 | 頭数 | - | 4 | 13 | 11 | | |
| | 去 C | 平均 | - | - | 1,604 | 1,547 | | |
| 8頭 | 頭数 | - | - | 3 | 5 | | | |

| | 牛 | 豚 | 搬入牛 | 搬入豚 | | その他 |
|----------|------------|--------------|------------|------|------|-----|
| と畜 売買 | 430 429 | 778 1,185 | - 386.0 | (競り) | (相対) | |
| | | | | - | 33 | 57 |

| ◇牛搬入 | | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
|------|---|-------|-------|-------|-------|-------|
| 和 雌 | A | 2,679 | 1,919 | 1,520 | 1,279 | - |
| | B | - | 2,395 | 1,354 | 1,119 | 825 |
| 和 去 | A | 2,737 | 2,481 | 2,248 | - | - |
| | B | 2,588 | - | - | - | - |
| 乳 雌 | B | - | - | - | 820 | 843 |
| | C | - | - | - | 832 | 799 |
| 乳 去 | B | - | - | - | - | - |
| | C | - | - | - | 960 | 917 |
| 交 雌 | B | - | 1,842 | 1,706 | 1,443 | - |
| | C | - | 1,827 | 1,569 | 1,509 | - |
| 交 去 | B | - | 1,855 | 1,769 | 1,550 | - |
| | C | - | - | 1,650 | 1,564 | 1,005 |

| ◇豚 | | [極上] | [上] | [中] | [並] | [等外] |
|----------|----|-------|--------|--------|--------|-------|
| 生体 | 高値 | 735 | 787 | 760 | 648 | 648 |
| | 安値 | 659 | 594 | 551 | 510 | 161 |
| | 平均 | 691 | 640 | 600 | 570 | 492 |
| | 頭数 | (11) | (420) | (477) | (221) | (56) |
| 搬入 競り | 高値 | - | - | - | - | - |
| | 安値 | - | - | - | - | - |
| | 平均 | - | - | - | - | - |
| | 頭数 | (-) | (-) | (-) | (-) | (-) |
| 搬入 相対 | 高値 | - | 735 | 626 | - | 475 |
| | 安値 | - | 616 | 540 | - | 432 |
| | 平均 | - | 695 | 569 | 529 | 445 |
| | 頭数 | (-) | (9) | (13) | (1) | (10) |

[大阪食肉卸売市場] 12月13日
枝肉卸売価格(生体)(1kg当たり円、税込み) []は豚規格

| | 5[極上] | 4[上] | 3[中] | 2[並] | 1[等外] |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 和 雌 A | 2,982 | 2,431 | 2,006 | - | - |
| (頭数) | (10) | (8) | (2) | (-) | (-) |
| B | - | 2,385 | - | - | - |
| (頭数) | (-) | (3) | (-) | (1) | (-) |
| 和 去 A | 3,069 | 2,485 | 2,145 | - | - |
| (頭数) | (52) | (6) | (3) | (-) | (-) |
| B | - | 2,225 | 2,108 | - | - |
| (頭数) | (-) | (1) | (2) | (-) | (-) |
| 乳 去 B | - | - | - | - | - |
| 交雑雌 B | 2,097 | 1,874 | 1,664 | 1,531 | - |
| C | 1,972 | - | 1,660 | - | - |
| 交雑去 B | - | 1,806 | 1,669 | 1,504 | - |
| C | - | - | 1,641 | 1,566 | - |
| 豚 | - | 532 | 523 | 444 | 487 |

[全国と畜概算頭数]
農水省統計部発表 (頭)

| | 12月13日 | 12月12日 | (12月累計) |
|------|--------|--------|---------|
| 豚 | 70,500 | 71,300 | 694,100 |
| 成牛計 | 5,620 | 5,210 | 55,410 |
| 和牛雌 | 1,320 | 1,340 | 13,670 |
| 和牛去勢 | 1,400 | 1,370 | 16,400 |
| 乳牛雌 | 940 | 930 | 7,270 |
| 乳牛去勢 | 410 | 430 | 5,270 |
| 交雑雌 | 800 | 470 | 5,990 |
| 交雑去 | 740 | 630 | 6,700 |

[去勢牛 B3・2 規格 枝肉取引価格] 12月13日

| | 1,692円(前日 1,703円) |
|----|-------------------|
| 東京 | |
| 大阪 | 1,632円(前日 1,496円) |

[豚・全農建値] 12月13日

| 上 | 中 | 取引頭数 | 市況 |
|------|------|--------|----|
| 643円 | 613円 | 1,310頭 | 急落 |

| | | | | |
|----------|-----------------|------------------|------------|-----------|
| と畜 売買 | 牛 80頭 牛 147頭 | 豚 309頭 豚 117頭 | 牛概況 豚概況 | 急落 強含み |
|----------|-----------------|------------------|------------|-----------|

各地の豚枝肉、豚部分肉、食鳥相場

[主要市場豚枝肉卸売価格] 12月13日 (1kg当たり円、税込み)

| | 上加重 (前日) | 中加重 (前日) | と畜 | 上場 | 市況 |
|----------|-------------|-------------|-------|-------|------|
| 北海道 [セ] | 626 (626) | - (-) | 6,188 | - | もちあい |
| 仙台 [中] | 657 (-) | 603 (472) | 522 | 58 | 反発 |
| 宇都宮 [地] | 696 (632) | 685 (602) | 1,668 | 95 | 急反発 |
| 茨城 [地] | 663 (673) | 638 (645) | 1,442 | 795 | 続落 |
| 群馬 [地] | 648 (659) | 554 (580) | 2,187 | 487 | 続落 |
| さいたま [中] | 632 (656) | 609 (620) | 274 | 270 | 反落 |
| 東京 [中] | 640 (653) | 600 (637) | 778 | 1,185 | 一段安 |
| 横浜 [中] | 659 (668) | 631 (638) | 665 | 667 | 続落 |
| 山梨 [地] | - (666) | - (642) | 83 | 9 | 休市 |
| 浜松 [地] | 646 (673) | 578 (611) | 309 | 35 | 下押し |
| 名古屋 [中] | 667 (664) | 602 (607) | 941 | 269 | もちあい |
| 京都 [中] | 631 (612) | 598 (585) | 38 | 72 | もちあい |
| 大阪 [中] | 532 (591) | 523 (568) | 309 | 60 | 急落 |
| 神戸 [中] | 645 (629) | 635 (621) | - | 59 | 上伸 |
| 岡山 [地] | 658 (629) | 666 (655) | 395 | 326 | 上伸 |
| 広島 [中] | - (-) | - (-) | 260 | 66 | - |
| 福岡 [中] | 638 (648) | 591 (603) | 583 | 106 | 反落 |

注：北海道はホクレン大卸売価格で、前日の全道と畜頭数。

[日本食肉流通センター] 12月6日～12月12日
豚カット肉 [I] (1kg当たり円、税込み、重量kg)

◇首都圏 総重量 1,885,464 kg

| | 第1四分位値 | 重量中央値 | 第3四分位値 | 刈込み平均値 | 取引重量 |
|------|--------|-------|--------|--------|-----------|
| 肩ロース | 1,103 | 1,257 | 1,346 | 1,232 | 79,136 |
| うで | 705 | 772 | 814 | 772 | 159,975 |
| ロース | 1,059 | 1,183 | 1,252 | 1,165 | 176,291 |
| ばら | 1,148 | 1,296 | 1,393 | 1,297 | 193,879 |
| もも | 717 | 756 | 802 | 760 | 257,951 |
| ヒレ | 1,058 | 1,094 | 1,246 | 1,135 | 15,327 |
| セット | 935 | 1,016 | 1,061 | 1,013 | 1,002,905 |

◇近畿圏 総重量 862,097 kg

| | 第1四分位値 | 重量中央値 | 第3四分位値 | 刈込み平均値 | 取引重量 |
|------|--------|-------|--------|--------|---------|
| 肩ロース | 1,203 | 1,315 | 1,359 | 1,293 | 71,110 |
| うで | 680 | 731 | 762 | 730 | 143,572 |
| ロース | 1,037 | 1,162 | 1,255 | 1,163 | 117,497 |
| ばら | 1,197 | 1,288 | 1,382 | 1,305 | 154,297 |
| もも | 701 | 713 | 778 | 723 | 197,826 |
| ヒレ | 1,112 | 1,164 | 1,217 | 1,165 | 12,733 |
| セット | 939 | 971 | 1,075 | 990 | 165,062 |

[食鳥正肉日経相場] 12月12日
荷受売値平均値 (kg当たり円、税抜き)

◇東京 (7社)

| | 安値 | 加重平均 | 高値 | 販売量 (t) |
|----|-----|------|-----|---------|
| モモ | 678 | 729 | 842 | 159 |
| ムネ | 366 | 406 | 504 | 131 |

◇大阪 (3社)

| | 安値 | 加重平均 | 高値 | 販売量 (t) |
|----|-----|------|-------|---------|
| モモ | 682 | 747 | 1,010 | 7 |
| ムネ | 379 | 426 | 570 | 4 |

[農水省統計情報部食鳥市況] 12月12日
kg当たり円、税抜き

| | モモ肉 | ムネ肉 | 手羽モト | 手羽サキ | ササミ |
|----|-----|-----|------|------|-----|
| 高値 | 978 | 618 | 550 | 600 | 650 |
| 安値 | 695 | 381 | 290 | 360 | 350 |
| 平均 | 738 | 414 | | | |

※日本食肉流通センター：①数値はすべて記載日中間中(1週間分)に収集した累積データをもとに算定しており、直近1週間の状況を示している。②重量ベースでみた価格の分布。代表値は「重量中央値」であり、参考値として「第1四分位値」「第3四分位値」「刈込み平均値」を算定。③収集した取引価格データ(単価・重量)を単価の低いものから順に並べ替えた上で取引重量を累積し、総取引重量のちょうど50%に位置する単価を「重量中央値」。最低価格から順に累積したデータを4等分し、最初の境界に位置する単価を「第1四分位値」3番目の境界に位置する単価を「第3四分位値」という。「刈込み平均値」は、第1四分位と第3四分位の間の重量ベースの平均値(加重平均値)。

食肉業界紙のパイオニア

食肉通信の 専門紙・誌と本

食肉業界のあらゆる情報を迅速・正確に伝えるべく、日刊、週刊、月刊の3紙を定期発行。食肉関連の情報を網羅した週刊「食肉通信」、日々のニュース速報に特化した日刊「食肉速報」、市場分析などテーマ性の高い情報を詳細に掘り下げる月刊「ミート・ジャーナル」を基幹媒体として、食肉に関する専門書籍を多数発行しております。

■業界動向がデータでわかる
数字でみる食肉産業

生産から流通、販売まで関連分野のデータを集積。B5判。年1回発行。

B5判 472頁 4,191円(送料別)

■畜産・食肉業界の動向大全
日本食肉年鑑

現状分析と将来の展望、戦略構築に必携の一冊。関係名簿、畜産・食肉需給の動向、食肉流通の動向、食肉加工品関係の売れ筋動向なども収録。年1回発行。

B5判 470頁 14,850円(送料別)

◆食肉販売&経営関連

**銘柄牛肉
ガイドブック**

隔年刊。全国の銘柄牛肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

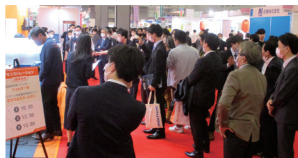
**銘柄豚肉
ガイドブック**

隔年刊。全国の銘柄豚肉の品種、飼養管理の方法、生産・出荷の実施主体、食肉処理と出荷・販売先、飼養頭数、ブランドの特徴、輸出の状況など最新データを満載。

B5判 240頁 定価2,200円(送料別)

◆イベント

■国内で唯一、
最大級の食肉総合見本市



食肉産業展

食のグローバル化が目覚ましい発展を遂げる中で、和牛に象徴される日本独自の食文化を守り今後の成長を促すため、多彩な素材食品、加工技術、販売手法、管理システムを一堂に集めて提案いたします。

(HP) <https://www.shokuniku-sangyoten.jp/>

お申し込みは電話かFAXで
お近くの食肉通信社まで

株式会社 食肉通信社

■大阪 〒550-0005 大阪市西区西本町3-1-48
■東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1
■九州 〒812-0029 福岡市博多区古門戸町3-12

TEL 06(6538)5505 FAX 06(6538)5510
TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015
TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995

週刊 食肉通信



食肉全般の行政、業界ニュースをはじめ、新製品や食肉店経営のページ、量販店・外食、食肉組合、食肉市場などのニュースのほか、週間・月間市況や全国の食肉市場の牛・豚肉相場、食鳥相場など、国内外の生産から商社、卸、小売まで広範な情報を掲載しています。わが国唯一の食肉専門紙。

発行は毎週火曜日、ブランク判8~12ページ、価格は年間25,000円(税・送料込)

日刊 食肉速報



食肉関連に関する行政、業界の動向をはじめ、国産(牛枝肉・部分肉、豚枝肉・部分肉、プロイラー)と輸入(米国産やカナダ産の牛肉・豚肉、豪州産牛肉など)の相場市況を毎日掲載するとともに、企業情報・企業倒産など日々の業界ニュースをお届けします。

発行は月曜日から金曜日、B5判14ページ、価格は年間82,080円(税・送料込) ※軽減税率対象

月刊 ミート・ジャーナル



食肉の流通チャネルが多様化する中で、その時々のもっとも話題性の高いテーマを多角的視野で捉え、現場をレポート・分析。あわせて食肉・食肉製品など総業の製造・流通・販売の現場ですぐに役立つ技術情報などを掲載する月刊専門誌。

発行は毎月月上旬、B5判120~150頁、価格は年間23,100円(税・送料込)

◆教材&レポート等

■あなたの常識を強固にする
今さら聞けない肉の常識

平野正男 著
鏡 晃 監

肉はなぜ赤いのか、しゃぶしゃぶがおいしい理由は?など66の常識をわかりやすく解説。

A5判 152頁 定価1,500円(送料別)

■知識を豊かにする
食肉用語事典〈新改訂版〉

日本食肉研究会編 A5判 506頁 定価7,000円(送料別)

■~食肉のプロフェッショナルを育てる~シリーズ

**牛枝肉・牛部分肉の見方
牛肉の見方を簡単図解**

牛枝肉・牛部分肉について、各方面のプロに幅広く取材し、「牛枝肉、牛部分肉のポイント」について分かりやすくまとめた待望の入門書。

B5判 90頁 定価3,000円(送料別)

◆ステーションナリー

**食肉手帳
DIARY**

毎年発行し好評をいただいている業界人必携の手帳がグレードアップ。機能性、食肉価格などの資料も充実し、日頃の業務をサポートします。名入れも可。

横9.4cm×縦14.5cm 定価990円 ※購入される冊数によって価格は変動します